

入札参加者 各位

7営設第1031号
令和7年7月8日

福岡県建築都市部営繕設備課長

(仮称)福岡県保健環境研究所新築機械設備工事設計図書に関する質疑回答書

NO	図面番号	質 疑	回 答
1	設計図書 GEN-005	⑧排水経路及び外構工事記載『屋内排水のマンホール(コンクリート製以外)』は機械設備工事となっております。 屋内排水マンホールとは何を指していますでしょうか？対象物を御教示願います。	屋内排水マンホールは、今回工事にはございません。
2	設計図書 GEN-005	㉓便所、湯沸室その他水回り記載『流し類(水栓共)』では建築工事となっておりますが衛生器具表の洗面器用水栓は機械設備工事となっております。 流し類(水栓共)が建築工事となる対象機器を御教示願います。	器具表に記載のものは本工事とし、記載のないものは建築工事とします。
3	設計図書 GEN-005	㉓便所、湯沸室その他水回り記載『流し類(水栓共)』では建築工事となっておりますが『同上水栓(その他)』では機械設備工事となっております。 機械設備工事で見込む対象水栓を御教示願います。	器具表及び実験設備に記載の水栓は本工事とします。
4	設計図書 GEN-005	㉓便所、湯沸室その他水回り記載『洗濯機パン』では建築工事となっておりますが衛生器具表に洗濯機パンの記載があります。 衛生器具表記載の洗濯機パンは機械設備工事と考えて宜しいでしょうか？	良しとします。

NO	図面番号	質 疑	回 答
5	設計図書 GEN-005	㊸便所、湯沸室その他水回り記載『集中方式自動フラッシュバルブ制御盤以降の二次側配管配線』は機械設備工事となっております。 上記内容はフラッシュバルブを一斉に流すシステムを採用する認識で合っていますでしょうか？ 採用する場合、参考メーカー及び型番を御教示願います。	メーカーの通常の大便器自動洗浄システム以外の付属装置の付加は考えておりません。 工事区分表は区分を表したもので、仕様を表したものではありません。
6	設計図書 GEN-005	㊸便所、湯沸室その他水回り記載『小便器用節水装置制御盤以降の配管配線』は機械設備工事となっております。 小便器用節水装置制御盤の参考メーカー及び型番を御教示願います。	メーカーの通常の小便器自動洗浄システム以外の付属装置の付加は考えておりません。 工事区分表は区分を表したもので、仕様を表したものではありません。
7	設計図書 GEN-005	㊹空調・換気記載『機械設備自動制御と電気設備盤との電源供給』は電気工事及び機械設備工事の両方に印があります。 機械設備工事で見込む必要がある対象機器を御教示願います。	分電盤のブレーカーの用意は電気工事、以降の配線は機械設備工事とします。
8	設計図書 GEN-005	㊹その他記載『実験家具の2次側給排水配管及び水栓、配管接続』『実験家具の2次側排気ダクト、ダクト接続』『実験家具の2次側ガス配管、ガスコック及び接続』は建築工事となっております。 各設備平面図記載内容は1次側工事と考えて全て機械設備工事と考えて宜しいでしょうか？	良しとします。
9	設計図書 GEN-005	㊹その他記載『高度実験室内の実験家具の2次側給排水配管及び水栓、配管接続』『実験家具の2次側排気ダクト、ダクト接続』『実験家具の2次側ガス配管、ガスコック及び接続』は建築工事となっております。 各設備平面図記載内容は1次側工事と考えて全て機械設備工事と考えて宜しいでしょうか？	良しとします。
10	設計図書 GEN-005	㊹その他記載『実験用特殊ガスボンベ及び配管工事』は別途工事となっておりますがM-201～212 図の内容全て別途工事でしょうか？	本工事としてください。
11	設計図書 GEN-005	㊹その他記載『実験用特殊ガスボンベ及び配管工事の高圧ガス法対応シリンダーキャビネット』は別途工事となっておりますがM-201～212 図ではシリンダーキャビネットが本工事になっております。 M-201～212 図の内容全て別途工事でしょうか？	本工事としてください。

NO	図面番号	質 疑	回 答
12	設計図書 GEN-006	⑤給水設備_9.建物導入部配管はスリークッションによると記載がありますが 免振継手を利用と考えて宜しいでしょうか？ また、その他流体も同様と考えて宜しいでしょうか？	原則、スリークッションで考えております。免振継手等の施工方法を採用する場合は、 別途協議いたします。 その他の流体も総合的に判断し使用を決定いたします。
13	設計図書 GEN-006	⑥排水設備_1.配管材料_雑排水管で耐熱硬質塩化ビニル管を利用と記載がありますが 耐熱硬質塩化ビニル管の使用範囲は枝配管のみで主配管接続まで と考えて宜しいでしょうか？	湯沸系統の枝管のみとし、主幹接続は本工事とします。
14	設計図書 GEN-006	⑬空気調和設備_26.アワーメーター及び27.度数計が機械設備工事になっています。 設置個所及び設置理由を御教示願います。	指定する機器はありません。
15	設計図書 GEN-007	⑯保温仕様_給排水及び空調設備共に屋外露出のラッキング欄にステンレス鋼板、 ガルバリウム鋼板両方の記載があります。 ステンレス鋼板と考えて宜しいでしょうか？ また、冷媒配管用保温化粧ケースは高耐食性めっき鋼板と考えて宜しいでしょうか？	ステンレス鋼板と考えて宜しいです。 屋外の冷媒配管用保温化粧ケースは高耐食性(上部歩行型)めっき鋼板と考えて宜しいです。
16	設計図書 GEN-011	耐震施工_機器本体の耐震性能に『下記に指定のない場合、耐震施工欄に 指定する設計用標準水平震度以上とすること。』と記載がありますが指定がある 場合の設計用標準水平震度が分かりません。 自動制御盤の設計用標準水平震度を御教示願います。	自動制御盤の自体の耐震性能はメーカー標準で良いです。
17	設計図書 GEN-011	諸官庁への届出『建築物省エネ法適合性判定に関して、省エネ基準工事報告書に 添付する資料を提出すること』と記載がありますが添付資料とは機器表、 平面図、系統図、納入仕様書と考えて宜しいでしょうか？	先に加え、性能のJIS認定、機器と仕様書の照合記録、据付時の立会い確認、施工写真・施工記録、 試験成績表と考えております。
18	設計図書 GEN-011	諸官庁への届出『届出時の想定メーカーを変更し、能力・消費電力等が 変更となる場合、変更申請に関する図面及び計算書類を作成のこと』と記載がありますが 当初の計算書類を作成していないため図面のみ対応と考えて宜しいでしょうか？	変更後の能力・消費電力等を算出した計算書類を求めることがあります。 基本的には、着工後提示する省エネ適合判定書類に添付する書類をお願いすることとなります。 (WEBProgram入力シートはご提示いたします)

NO	図面番号	質 疑	回 答
19	設計図書 GEN-005 GEN-011	『GEN-005』図で消火器は別途工事になっております。 『GEN-011』図消火設備で『消火器(支給品含む)の設置計画と申請手続きは本工事とする』と記載がありますが計画及び申請は別途工事と考えて宜しいでしょうか？	図面記載のとおりとしてください。 器具は別途工事ですが、配置検討設置届の申請書類は本工事範囲とします。
20	設計図書 GEN-011	空調換気ダクト設備で『パッキン 酸アルカリ系ダクト:テフロン又はフッ素系とする』と記載がありますが酸アルカリ系統の対象ダクトが不明です。 GEN-013 図に対象室の記載はありますが、どのダクト系統が有機or酸アルカリ系統か分かりません。(例えば4 階第4 実験室の諸元表は有機、酸アルカリの2 系統ありM-159 はFE-4L-3有機の1 系統のみ) 実験用排気ダクト平面図が正と考えて宜しいでしょうか？	図M-84～86及びM-138参照ください。
21	設計図書 GEN-011	機器仕様でパッケージ型エアコンはメーカー製造者標準仕様(メーカー標準仕様)と記載がありますが国交省仕様で見積と考えると宜しいでしょうか？	良しとします。
22	設計図書 GEN-011	空調換気ダクト設備に『実験系のダクトは煙によるリークテストを行うこと』と記載がありますがリークテスト方法及びテスト箇所数を御教示願います。	図M-84～86及びM-138に記載のスクラバ等排ガス処理設備接続のダクトとします。
23	設計図書 GEN-012	諸元表記載の特殊ガス供給先とM-202 図の特殊ガス供給先に相違がありますが、M-202 図を正と考えて宜しいでしょうか？	良しとします。 研究所が自前でポンペを設置し運用を行う部分もあります。
24	設計図書 GEN-015	GEN-005 図記載通り梁スリーブ取付は建築工事と考えて宜しいでしょうか？	良しとします。本設計図書記載内容はあくまでも想定であり、建築図に記載している位置を記載しています。
25	設計図書 GEN-016	天井有無及び天井高さ並びに仕上げが分かる資料を頂けないでしょうか？	建築の仕上げ表を提示します。別紙NO25

NO	図面番号	質 疑	回 答
26	設計図書 GEN-021	消火用免振フレキサイズが80A+100A になっていますが M-027 図では50A+100A になっております。 M-027 図が正と考えて宜しいでしょうか？	80A+100Aとしてください。 ワンヘルス棟への消火配管サイズの記載がありませんが80Aとしてください。
27	設計図書 M-001	タンク類の電極座が電気工事になっていますが GEN-010 図では給衛(機械設備工事)になっております。 電気工事と考えて宜しいでしょうか？	本工事としてください。
28	設計図書 M-001	PHW-1(給湯循環ポンプ)記載内容で、起動方式はL-S になっており備考欄では インバーター制御となっております。 定速運転と考えて宜しいでしょうか？	良しとします。
29	設計図書 M-001	給排水衛生設備の自動制御内容が不明です。 全て別途工事と考えて宜しいでしょうか？ (浄化槽・排水処理設備・中和処理設備の警報工事含む) 本工事の場合、計装内容を御指示願います。	別途工事はありません。 警報は本工事です。自動制御図に記載があります。
30	設計図書 M-002	M-002～006 図の水栓柱はアルミ製900H ですが、GEN-006 図ではSUS 製 1300H になっております。 衛生器具表が正と考えて宜しいでしょうか？	良しとします。
31	設計図書 M-016	衛生詳細図記載内容と衛生器具表で相違があります。 衛生器具表に記載内容は機械設備工事で算出すると考えて宜しいでしょうか？ 例えば、2 階洗浄室2 詳細図には『水栓(建築工事)』と記載がありますが、 衛生器具表に記載があります。	良しとします。
32	設計図書 M-051	PW-3(受水槽付きポンプユニット)の自動制御がありませんが、 別途工事と考えて宜しいでしょうか？	一体型で自動制御は本体に含まれたものを選定ください。 本工事内設備を動かすのに必要な制御で別途工事のものはありません。

NO	図面番号	質 疑	回 答
33	設計図書 M-052	空調機の制御盤が電気工事になっていますが、機械設備工事(自動制御工事)と考えると宜しいでしょうか？	自動制御盤のことではなく動力制御盤が電気工事であることを示しています。 ただしインバーター盤は本工事としています。
34	設計図書 M-052 M-231	空調機の機器表には全ての空調機の『予熱時外気取入れ停止』欄に○がありますが、計装図より『予熱時外気取入れ停止』制御の対象はACU-1-1のみと考えると宜しいでしょうか？	左記のとおりとしてください。外調機は不要です。
35	設計図書 M-065	FE-4-B-1～3、FE-5-B-1～4 の消音ボックス送風機にインバーター設置(機械設備工事)と記載がありますがインバーターは不要と考えると宜しいでしょうか？	左記のとおりで不要としてよいです。
36	設計図書 M-066	FE-C1-C5(シリンダーキャビネット用ファン)の台数が5 台になっていますが、M-202 図では9 台になっております。 9 台が正と考えると宜しいでしょうか？	M-84～85に記載のとおり、複数台のシリンダーキャビネットの排気を1台のファンで行っている部分もあります。
37	設計図書 M-066	FE-C1-C5(シリンダーキャビネット用ファン)のダクト平面図が見当たりません。 ファンのみ納入してダクト工事は別途工事(ファン搬入据付含めて)と考えると宜しいでしょうか？	M-84～85に記載していますので、図面を確認してください。 本工事内設備機能維持のための設備は原則本工事です。(電源以外)
38	設計図書 M-066	FE-C1-C5(シリンダーキャビネット用ファン)にインバーター設置(機械設備工事)と記載がありますがインバーターは必要でしょうか？	左記のとおりで不要としてよいです。
39	設計図書 M-066	FUBG-5-1～3(HEPA フィルターユニット)にバグインバグアウト及びウェットダウン仕様は不要と考えると宜しいでしょうか？	排気処理ユニット単独での除染可能な構造とすることで、滅菌によりフィルター交換を行うため、バグインバグアウトの方式はとりません。 ウェットダウン仕様も不要です。

NO	図面番号	質 疑	回 答
40	設計図書 M-069	『厨房用の外気・排気用、及び処理外気用はVAV・CAVは予備機器として、 1台ずつ予備機器を納品する』と記載がありますが、対象機器は無いものと考えて 宜しいでしょうか？ 見込む場合、対象機器番号を御教示願います。	左記のとおり、不要としてよいです。
41	設計図書 M-071～077	パンチングディフューザー(アルミ製)の仕様は下記仕様でよろしいでしょうか？ 外枠:アルミ製 パンチング板:鉄製	左記のとおりでよいです。
42	設計図書 M-098	架台番号②の個数が173個になっていますが平面図は175個あります。 175個が正と考えて宜しいでしょうか？	左記のとおり175個としてください。
43	設計図書 M-104	1次側ヘッダーバイパス管に二方弁の記載がありますが不要と考えて宜しいでしょうか？	自動制御図を正としてください。
44	設計図書 M-104	AHP-1-1-1～16、AHP-1-2-1～4、AHP-1-3-1～4 廻りの配管フローとM-224図の 配管フロー図に相違があります。 M-104図が正と考えて宜しいでしょうか？ また、M-104図が正の場合二方弁の制御方法を御教示願います。	自動制御図を正としてください。
45	設計図書 M-124	DC-51(湿式スクラバー付きドラフトチャンバー)には給水・排水配管の接続箇所が ありますが給水・排水配管の接続が給排水衛生設備平面図にありません。 (対象室内に給水バルブ止めもなし) 機械設備工事範囲は平面図を正と考えて宜しいでしょうか？ また他実験機器も上記同様ですが、平面図を正と考えて宜しいでしょうか？ 接続するのであればルートを御教示願います。	給水・排水配管の接続が給排水衛生設備平面図にないものは接続は不要です。 機器自体は接続を可能とした仕様としてください。 他の実験機器も同様としてください。
46	設計図書 M-141	間接排気フィルターユニットにパンチングスカート付きと記載があります。 パンチングスカートの仕様を御教示願います。	安全キャビネット排気の間接排気とする形で計画してください。(JI-K-3800参照) 排気フィルターユニットからスカートを垂れ下げる形状とし、BSCと間接ダクト隙間から漏洩が 無い様に隙間を設計してください。別紙NO46

NO	図面番号	質 疑	回 答
47	設計図書 M-141,-142 他	5階BSL-3 系統の排気処理ユニットFUBG-5-1,-2,-3 について、 屋外(封じ込めエリア外)に設置してあります。HEPA フィルター交換時、外部に有害物質が 開放する恐れがありますので、密封交換式にする必要はありませんか。 同様に付着した有害物質を無害化するための、不活化用ポートは必要ありませんか。	排気処理ユニット単独での除染可能な構造とし、滅菌によりフィルター交換を行う構造とします。 その際に出入口を閉止できる構造及び不活化薬剤が投入できる構造としてください。 排気処理ユニットなどダクト道中設置フィルタ前後に20A程度のソケットを取り付け 前後のバルブを閉じソケットを利用して単体滅菌後フィルタを交換する形になります。
48	設計図書 M-143	『特殊空調室、建屋全体のマスターキープランの対応』備考欄に 『パネル建具の錠前に対してマスターキー対応となる場合』と記載があります。 対応は必要になりますでしょうか？ また、マスタープランの対応とは何を指しますでしょうか？	特殊空調設備エリアの管理の仕方により単独でのキープランとするかどうかは運用によります。 着工後資料者に確認を行い判断するので、どちらの対応も可能にしてください。 プランの対応とは、建築のマスターキー計画を意味しております。
49	設計図書 M-143	GEN-005 図工事区分表では床仕上げ建築工事、M-165 図パネル詳細図では 塗床(建築工事)、長尺塩ビシートと記載があります。 塗床は建築工事で、長尺塩ビシートは機械設備工事で宜しいでしょうか？	左記のとおりでよいです。
50	設計図書 M-143	『特殊空調エリア 室内備品工事』とは、M-123、129 図が対象備品と考えて宜しいでしょうか？	左記のとおりでよいです。
51	設計図書 M-143	『BSL 区域、初期滅菌作業』の備考欄に『実施の可否を別途協議』と記載があります。 実施有無を御教示願います。 実施する場合、滅菌作業の方法(薬剤・濃度)・時間・回数等を御教示願います。	完成後1度滅菌作業を行うものとしてください。実施時期は協議によりますが、竣工後となる場合もあります。 室容積等に見合った量、濃度、時間を各検討し実施ください。ケミカル、バイオインジケータなどによる 効果の確認のうえ、滅菌後の報告書を提出してください。 薬剤としては、ホルムアルデヒドもしくは、二酸化塩素での除染を想定してください。
52	設計図書 M-143	竣工後2年間の運転データ収集と記載があります。 ・消費電力は、全体でなく細分化(例えば空調、装置、照明など)と分ける必要がありますか。 ・熱量は空調機負荷熱量として考えてよろしいでしょうか。 ・CAV 開放時間は空調時間として考えていいでしょうか。	中央監視装置に於いての点数に細分化してください。 熱量は空調熱量としてください。 CAVは空調運転時間としてください。
53	設計図書 M-144	滅菌バルブは、高気密ダンパー(1kPa 時3.3×10 ⁻³ m ³ /min/m 程度)と 考えてよろしいでしょうか。 滅菌バルブの仕様(材質・内外気密・VD or MD)を御教示願います。	滅菌バルブはバタフライ式とし、弁棒、弁体部分(風の通行部分)をSUS製としてください。 滅菌時の漏洩、劣化が無い様に、選定してください。

NO	図面番号	質 疑	回 答
54	設計図書 M-144 他	滅菌時のエアレーションは不要と考えてよろしいでしょうか。 また除染排気は、排気ダクトを兼用してよろしいでしょうか。	左記のとおりエアレーション不要、除染排気は排気ダクト兼用とします。
55	設計図書 M-144 他	WHO 実験室バイオセーフティ指針によると、出入口から実験室に一定方向の 気流を確保する制御された換気システムを設置しなくてはならないとされておりますが、 前室4、5は排気のみで室圧がコントロールされておられません。 また排気のみなので、AL室と気流方向が逆転している可能性があります。前室4、5も コンテイメントエリアとして空調制御が必要と思われませんが、必要ありませんか。	WHO基準より「国立感染症研究所病原体等安全管理規定」を優先してください。 厚生労働省病原体等を所持する施設についての施設例示図等による、いわゆる同時に開かない 2つの扉を付帯、について、本件ではAL室を相当させており、インターロック機構を必要としています。 その為、気流の概念は前室～ALへ負圧、AL～実験室へ負圧となります。本質疑による前室は ハザード管理区域外(準備室)として考え、ハザード管理区域はAL室よりと考えてください。
56	設計図書 M-144 他	WHO 実験室バイオセーフティ指針にて、BSL-3では特別な保護衣の使用が 記載されており、前室には清浄衣服と汚染衣服を分離するための設備と必要があれば エアシャワーの設置、が記載されておりますが、エアシャワーは不要、又は別途で よろしいでしょうか。	エアシャワーは不要と考えております。先のWHO指針P3参照。
57	設計図書 M-144 他	実験室-AL扉はインターロックとなっておりますが、前室4、5扉も インターロックは必要ありませんか。 同様に、常閉扉にもインターロック又はドアスイッチによる警告灯などの設置は 必要ありませんか。	前室4、5はBSL3管理区域ではなく、メンテナンス上の前室としていますので不要です。 ALを前室と考えております。 常閉扉は設備搬入用に考えており、運用しながら開放することを想定しておりません。
58	設計図書 M-144 他	ダクトや内装材選定(パッキン材、シール材)のため、室内滅菌方法や 使用薬剤をご提示ください。 *ダクトステンレス鋼板、内装パネル塗装鋼板、アルミ枠など相違がみられるため 確認(現状の設計のまままで問題ないとしていいでしょうか)	パラホルムアルデヒドガスによる除染、炭酸水素アンモニウムによる中和となります。 もしくは、二酸化塩素ガス除染となります。以上を考慮願います。
59	設計図書 M-144 他	入退出の扉開閉により、室圧及び室圧制御が不安定になる可能性があります。 ドアにリミットスイッチを取付け、制御を止めることで安定しますが、必要ありませんか。	ドアにリミットスイッチ(参考型番MG-103WSA)を付けPCDの開度固定を見込んでください。 配線露出部は化粧モールとします。確実なインターロック機能と密閉性能を考慮してください。
60	設計図書 M-144 他	パスボックスに排気は必要ありませんか。 パスボックス内がハザード汚染された場合、前室4、5に影響が出る恐れがあります。	不要です。パスボックスが汚染される運用は問題があります。 確実なインターロック機能と密閉性能を考慮してください。

NO	図面番号	質 疑	回 答
61	設計図書 M-144 他	室圧監視は現状実験室、AL 室のみですが、一定方向気流を確認するために、 前室、廊下にも必要ありませんか。	室圧制御で実験室(負圧)<AL(負圧)<前室、廊下(常圧)としているので不要です。 本室とAL室、前室4・5とAL室の差圧なので、前室4・5が陽圧でも陰圧でも、それに対して陰圧を保つよう に制御を行うものとします。
62	設計図書 M-147	WHO 実験室バイオセーフティ指針において、実験室の各出口近くに、手を使わないで 操作できる手洗い用流しを設置するとありますが、今回見積もりでは別途として よろしいでしょうか。	室内に流し設置し、レバー式水栓を設けています。先のWHO指針参照。
63	設計図書 M-151	照明器具は気密性を確保するために、クリーンルーム用を使用すると 考えてよろしいでしょうか。	パネルの気密性を考慮するとパネル開口部を減らしたいのでベースライトとしてください。 (参考型式XLX460AENP LE9)配線穴は通線後コーキング処理とします。
64	設計図書 M-151 M-157 M-163	コンセント、スイッチなどのボックスは、気密性を持ったもの(ルフトロックなど)で 施工すると考えてよろしいでしょうか。 特殊空調エリアの配線器具(コンセント、照明スイッチ)のプレートの仕様を 御教示願います。	よろしいです。ルフトロックなどだけでなく通線後、パネル埋込配管の両端部をコーキング処理とします。 プレートは一般的なものでよいです。
65	設計図書 M-151 M-157 M-163	特殊空調エリアの分電盤3面(LB-BS-01,LB-CH-01,LB-CH-02)の結線図を 頂けないでしょうか？	着手後に現場総合図にて調整することとします。 分電盤の負荷容量を提示します。別紙NO65
66	設計図書 M-151 M-157 M-163	特殊空調エリアの照明器具の姿図を頂けないでしょうか？	姿図を確認ください。 別紙NO66
67	設計図書 M-170	冷媒配管保温厚30t 以上と記載がありますが、独立気泡断熱材は不要と 考えて宜しいでしょうか？	独立気泡断熱材は必要です。 液配管は被覆銅管、ガス配管は銅管直管に断熱材(アーマフレックスやエアロフレックス)で 保温を行います。

NO	図面番号	質 疑	回 答
68	設計図書 M-204	横引き配管は平面図記載が全てで、ポンペのみプロットがある系統は マニホールまでが本工事と考えて宜しいでしょうか？	左記のとおりでよいです。
69	設計図書 M-237	特殊空調用の空調機はポイントリストにありませんが、不要でよろしい でしょうか？	高度安全実験室空調動力盤として、一括監視しています。
70	設計図書 M-244	既存ワンヘルス棟天井内配線敷設工事に伴い、既存ワンヘルス棟の 天井有無・仕上げ・天井高さが分かる資料を頂けないでしょうか？	別紙をご確認してください。 別紙NO70
71	設計図書 M-271	既存給水配管50A 撤去に伴い既存ワンヘルス棟の給水配管が停止しますが 問題ないでしょうか？	問題ありません。現在使用しておらず、別途発注工事にて改修を行います。
72	その他	WHO 指針にて『実験室の作業区域内に立ち入りを許されるのは認証された職員に 限られなくてはならない』とありますが、今回施設でカードリーダー設備などセキュリティを 管理できるシステムはありますか。今回は施工範囲外と考えてよろしいでしょうか。	別途電気工事としています。
73	その他	BSL-3、CH 対象室に設置される安全キャビネット他実験機器の滅菌は本工事範囲でしょうか、 別途と考えてよろしいでしょうか。	完成後1度滅菌作業を行うものとしてください。実施時期は協議によりますが、竣工後となる場合もあります。 室容積等に見合った量、濃度、時間を各検討し実施ください。ケミカル、バイオインジケータなどによる 効果の確認のうえ、滅菌後の報告書を提出してください。 薬剤としては、ホルムアルデヒドもしくは、二酸化塩素での除染を想定してください。
74	その他	WHO 指針にて『火災、電気関係の緊急事態に対応し、緊急シャワー、及び洗眼設備等を 装備した安全システムが整備されていない』とされていますが、 今回は施工範囲外と考えてよろしいでしょうか。	M-006、器具表記載のハンドタイプの緊急シャワーを設置してください。

NO	図面番号	質 疑	回 答
75	入札時積算数量書	受領した数量書に別紙明細(保温等)が記載されておりませんでした。 今後、追加資料として配布を予定されておりますでしょうか。	配布は予定しておりません。
76	質疑回答書	質疑回答にて『工事着手時期は令和8年5月を想定』とありましたが、 竣工時期は契約工期と変わらず、令和9年9月30日でしょうか。	竣工時期は工期内とお考えください。
77	現地	工事期間中の工事車両は、同一敷地内に無償で駐車できるものとしてよろしいでしょうか。	敷地内に駐車場がありますので無償で使用可能ですが、スペースには限りがありますので 他工事と調整いただきながら使用する形になります。
78	設計図書 GEN-005	工事区分表及びM-016～025平面詳細図では実験什器用の水栓は建築工事の M-記載がありますが、002～006では本工事となっております 。本工事としてよろしいでしょうか。	良しとします。
79	設計図書 M-221～251	自動制御設備図に給排水衛生設備の制御の記載が一切ありません。 別途工事としてよろしいでしょうか。本工事の場合、給排水衛生設備の設計図をご提示ください。	給排水衛生設備の制御としては、浄化槽や中和設備の制御は各図面に記載しております。 給湯設備のリモコンは機器表と自動制御1階平面図に記載の通り1階執務室設置し道中の配管配線も 本工事です。その他警報、計量を取りに行く配線工事がありますが計装図に記載があります。
80	設計図書 M-154,160	特殊空調設備3F及び4Fの機械室詳細図に空調設備との取合点の記載がありますが、 M-097の空調設備配管図に取合点の記載がありません。直近で分岐が取れるもの としてよろしいでしょうか。	どちらも本工事内なので、直近で分岐をとるようにしてください。
81	設計図書 M-016	衛生設備詳細図(3)図上の右上に2.4.5階のWC詳細図、右下に2.3.4階のWC詳細図の 記載がありますが、2、4階が重複しています。 右下のWC詳細は3階のみに読み替えてよろしいでしょうか。	右上は5階のみ、右下は2・3・4階としてください。

NO	図面番号	質 疑	回 答
82	設計図書 GEN-005 M-008	工事区分表の本設・引込み及び接続の中で給水引込み工事は斜め斜線がありますが、 ○がついております。配置図にも水道本管より引込と記載がありますので、 工事区分表の○を正としてよろしいでしょうか。	左記のとおりとしてください。
83	設計図書 GEN-005 M-008	工事区分表の本設・引込み及び接続の中で排水本管接続工事は斜め斜線があり、 配置図にも既存放流柵に接続と記載があります。下水道本管接続はなく、 既存放流柵の使用が可能で、再申請等は不要と考えて宜しいでしょうか。	下水道本管への接続はなく、既存放流柵(敷地内)の使用は可能ですが、 必要な申請は施工者で行うことといたします。
84	設計図書 GEN-006	2.仮設工事の監督事務所について10m2程度と記載はありますが、 設けるに○がついてないので別途として宜しいでしょうか	建築工事で設けているので不要です。
85	設計図書 GEN-006・011	3.共通事項 8.埋設標識テープ標準仕様書及びGEN-011参照と記載がありますが、 GEN-011には記載がない為、標準仕様書の内容としてよろしいでしょうか。	左記のとおりとしてください。
86	設計図書 GEN-011 M-052~061 M-098	特記仕様書に室外機SUSドレンパンが要との記載がありますが、該当する機器表及び 平面図には室外機ドレンの記載はありません。不要としてよろしいでしょうか。	必要です。マルチエアコンは全て対象となります。
87	設計図書 M-083	6階平面図の機械室OAガラリチャンパーサイズが見当たりません。サイズをご教示願います。	ガラリサイズ3600W×1500Hとなっております。 チャンパーボックスは3600W×1500H×700D、板厚1.2t、点検口外開き600×600、室内側断熱材あり としてください。
88	設計図書 M-007~010	緊急排水槽に入った汚水・雑排水等を抜き取る手段がありません。 抜き取り用配管は不要と考えて宜しいでしょうか。	バキュームカー等にホース吸込みを想定していますので、不要です。

NO	図面番号	質 疑	回 答
89	設計図書 M-007~010	緊急排水槽用通気配管は不要と考えて宜しいでしょうか。	必要としてください。 中和排水の通気と同じ位置で立ち上げ屋上開放してください。
90	設計図書 M-007~010	中和槽から屋上までの通気管は大気開放可能な空気と考えて宜しいでしょうか。	良しとします。基本的に薬品を排水に流す運用は行いません。万が一の備えとして中和設備を置いています。 配管材は図面の通りとしてください。
91	設計図書 M-010	Y6-Y7通り・X2-X3通り間のコムラボに詳細図参照と記載がありますが、 詳細図がありません。ご提示願います。	2・3・4階便所詳細図になります。階段付近に流しの給排水が必要となります。
92	設計図書 M-012・013・020 M-123・129	給排水衛生設備平面図の中に湿式スクラバー付ドラフトチャンバーや 活性炭素吸着処理装置付流し台・湿式スクラバーの給排水配管の記載がありません。 湿式スクラバー付ドラフトチャンバーや活性炭素吸着処理装置付流し台は 最寄りの給排水配管に接続と考えて宜しいでしょうか。 屋上の湿式スクラバー用給排水配管の接続は接続点やサイズ等のご指示をお願い致します。	最寄りの給水から接続するものと考えてください。 排水は産廃処分となります。 別紙NO92参照
93	設計図書 M-055~060	パッケージエアコンの室内機付属品の欄にアルコールセンサーの記述がありますが、 各メーカーに確認しましたところ、該当品がございませんでした。 お手数ですが付属品を見込めるメーカーありましたらご教示ください。 その際、計測されたいアルコールの濃度範囲もご教示ください。ない場合、別途工事として よろしいでしょうか。	見込めるメーカーは存在します。 アルコール濃度は60%としてください。
94	設計図書 M-098・103 M-148	特殊空調設備の6階機械室内に空調機用加湿給水管の機械室内給水取合点の 記載がありますが、空調配管図の平面図・詳細図共に機械室内の加湿用給水配管の 記載がありません。 屋外テラー用補給水配管より分岐し、延長すると考えて宜しいでしょうか。	左記のとおりとしてください。 別紙NO94参照
95	設計図書 M-054	ACP-1-11の室内機付属品に消音フードの表記がありますが、室外機に設置するものと 考えた方がよろしいでしょうか。	不要としていただいて構いません。

NO	図面番号	質 疑	回 答
96	設計図書 M-055他	ACP-2-24他 室内機付属品にアルコールセンサーの表記がありますが、メーカーに該当品がないようです。お見込みの製品がありましたら、ご教示願えないでしょうか。	見込めるメーカーは存在します。
97	設計図書 M-071他	制気ロリストに内貼の表記がありますが、GW25tと考えてよろしいでしょうか。	左記のとおりとしてください。
98	数量 11 入札時積算数量書	3.排煙設備(2)ダクト設備に、ステンレスダクトが記載されていますが、使用範囲をご教示ください。	屋外露出部分としてください。
99	数量 11 入札時積算数量書	3.排煙設備(2)ダクト設備に、鋼板製ダクト1.6mmがありますが、(耐火ダクト)と記載のものと記載なしのものとの違いをご教示ください。	(耐火ダクト)記載なし:HFD用単管 (耐火ダクト)記載あり:上記以外全て としています。
100	数量 11 入札時積算数量書	12.給湯設備の配管で、75SU以上は溶接接合になっていますが、配管厚はSch10と 考えてよろしいでしょうか。	配管は一般配管用ステンレス鋼管(SUS-TPD:JIS G 3448)とし、 継手は一般配管用ステンレス鋼製突合せ溶接式管継手(JIS B 2309)を採用するものとします。
101			
102			